

協議事項	資料・項目	評価委員からの意見
<p>1 令和元年度業務実績評価（案）に係る意見聴取について</p>	<p>【資料3 小項目評価 P.6~7】 急性期を中心に地域特性を反映する医療の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 救急車受入れについては、目標件数達成は得られなかったものの応需率が向上しており、評価4は妥当である。但し、患者受け入れ時の重症度の把握により、西部メディカルの機能に応じた受入れを心掛ける必要がある。 断らない救急により地域の安心につながっており、実績が上がっていることから「4」は妥当。
	<p>【資料3 小項目評価 P.10~11】 地域医療機関と連携した在宅医療の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筑西診療所の努力により在宅医療のレベルアップが期待できており、評価できる。 筑西診療所の存在が大きいと思われる。法人内での連携が積極的に行われたことは、よい影響をきたしているので、「4」評価は妥当。
	<p>【資料3 小項目評価 P.21】 地域医療機関、かかりつけ医との連携（2人主治医制）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二人主治医制については、院内外の連携を含めて十分とは言えず、患者の理解が得られているとは思えない。 地域医療支援病院の3要件のうち、どの要件を目指すのかについて、明確な目標設定を行い、2021年度に向けての取組を計画してください。 「断らない救急」により紹介率は高くなることが予測される。逆紹介率に関しては、地域との連携を積極的に行っていること、訪問看護ステーションの機能も高くなっていることから評価は、「3」でよいと考える。
	<p>【資料3 小項目評価 P.37~38】 収益の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収益の確保については、スタッフ確保も不十分であり、更なる努力を要すると考える。 2019年度決算は、対予算比8.38億円の収入未達、6.01億円の収入悪化について、手術件数増などの努力をされている点は、評価しますが、本年2月以降の新型コロナウイルスの影響により、2020年度は、大きく影響をうけることが予測されます。その対応、中期計画の見直し等が重要となり、2019年度期首に約12.5億円であったキャッシュフローが期末8.3億円となり、2020年度の資金枯渇が懸念されます。最悪の状態も念頭においた資金計画をご検討ください。

協議事項	資料・項目	評価委員からの意見
	<p>【資料3 小項目評価 P. 37~38】 収益の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入院診療単価が上がったことは、評価できる。今後も外来患者数は減少していくことが予測される。在院日数の短縮を図る必要がある。「3」でもよいと思うが、あえて「2」で奮起して頂きたい。 P 3 8 の未収金対策についてお尋ねいたします。法人として、どのような状態になった未収金（例えば、発生後3カ月以上経過など）を対策が必要な債権として考えているのか。また、未収金対策が必要となった債権の残高推移を教えてください。
	<p>【資料3 小項目評価 P. 39~40】 費用の節減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 費用の節減については、保険等査定減が、1, 160万円程あり、本当に必要な検査・治療等個々の検証が必要ではないか。 経営改善が図られているが、結果として表われないのはなぜか。多機能型経営分析ツールを導入されているので、活用をお願いしたい。「収益の確保」とともにあえて「2」で奮起して頂きたい。
	<p>【小項目評価 P. 44】 資金計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> P 4 4 の資金計画についてお尋ねいたします。令和2年3月期の資金収支が▲417百万円であり、繰越金残高が829百万円となっております。コロナウイルス感染症による減収が見込まれる中、収支状況が改善しない場合には、数年で資金が枯渇することが想定されます。資金繰り対策として、どのような資金調達方法を考えておられるのでしょうか。
	<p>【資料3 小項目評価】 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 業務実績評価（案）については、法人の自己評価、設立団体評価が全項目で一致し、概ね妥当と判断します。
<p>2 中期目標 期間見込評価 実施要（案） に係る意見聴 取について</p>	<p>【資料5 茨城県西部医療機構中 期目標期間見込評価実施要領 （案）】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料5 中期目標期間見込評価要領については、了承できる。但し、現状は中期目標達成には程遠く、法人の経営・運営の大改革が必要であろう。計画がある以上、その達成を目指すべきであり、経過報告に終わってはならない。残り2年間となって病床数・人員・機能等あらゆる分野で設定の変更も考えなければならない。 2018-2021年度予算については、今年度の新型コロナウイルスの影響についての分析と今後の見通しを踏まえた見直しが必要ではないでしょうか。 短期借入金についても同様と考えます。 国、茨城県、筑西市からの最大限の援助が望まれます。

協議事項	資料・項目	評価委員からの意見
3 中期目標 期間評価実施 要領（案）に 係る意見聴取 について	【資料7 茨城県西部医療機構中 期目標期間評価実施要領（案）】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018－2021年度予算については、今年度の新型コロナウイルスの影響についての分析と今後の見通しを踏まえた見直しが必要ではないでしょうか。 短期借入金についても同様と考えます。 国、茨城県、筑西市からの最大限の援助が望まれます。
4 年度評価 実施要領改正 に係る意見聴 取について	【資料9 茨城県西部医療機構 年度評価実施要領 新旧対照表】	<p>小項目ごとの業務実績の定量的な記述その他の業務の実施状況を具体的に理解できる工夫をしたうえで、 理解し難い文面である。</p> <p>小項目ごとの業務実績の定量的な記述を行い、その他の業務の実施状況についても具体的に記述し理解できるように工夫したうえで、 この理解で宜しいか？</p>